

平成20年度 事業報告概要 (指定管理者からの事業報告書概要)

報告期間：平成20年4月1日～平成21年3月31日

施設名	大和市郷土民家園
指定管理者	財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日

1、事業報告概要

【業務実施状況】

- 施設の総括管理及び庶務

管理運営体制	常時2名
開園状況	毎週月曜日(休日の場合翌日)及び年末年始(12/29～1/3)を除く毎日
開園時間	午前9時～午後4時30分(7/21～8/31は午後5時まで)

- 施設の利用受付及び庶務

年間利用者数(記帳者のみ)

カウンター集計による利用者数…54,250人

記帳集計による利用者数…26,474人

区分	市内	市外	県外	合計
一般	11,761人	13,639人	1,074人	26,474人

小中学校等の施設利用

小中学校 市内15校・市外15校 計30校

- 施設利用者に対する歴史説明

大和の歴史(古民家・農耕・養蚕)等の説明を実施。

- 園内清掃及び環境整備、簡易な修繕

園内清掃	定期園内清掃(開園日の午後実施)
施設内清掃	旧北島家・旧小川家両施設の清掃(開園日の午前実施)。茅葺屋根等防虫のため、両施設を燻蒸(一日交代)。
植物管理	除草・草刈・畑管理・低木剪定・生垣剪定・消毒等を実施(毎月)。
簡易修繕	スロープ丸太交換、排水溝土砂掻き出し、鶏小屋網戸修復等15件
民具作製	竹とんぼ・お手玉・ブンブンゴマ等 適宜作製
巡回・警備	開園時間中、常時1名巡回警備。閉園時間中は、機械警備を実施。
消防訓練	文化財防火デー(1月26日)にちなみ、20年度は1月27日に実施。

- 文化財調査報告書の紹介

教育委員会発行の文化財調査報告書を民家園内において展示紹介した。

・事業の実施

自主事業（民家園まつり）

	事業名称	開催日	参加人数（定員）
1	端午の節句まつり	5月5日	—
2	かまどでご飯炊き①	5月28日	6（10）
3	はた織り	6月4日	12（10）
4	七夕まつり	7月6日	—
5	七夕飾りを作ろう	7月6日	22（20）
6	カイクを知ろう	7月19日	16（20）
7	夏休み親子竹細工教室	8月3日	16（15）
8	かまどでご飯炊き②	8月23日	12（10）
9	十五夜団子づくり	9月14日	14（15）
10	収穫祭	11月2日	106（100）
11	正月飾りを作ろう	12月23日	50（40）
12	七草のふるまい	1月7日	103（100）
13	獅子舞ともちつき	2月8日	100（100）
14	味噌づくり①	2月18日	20（20）
15	味噌づくり②	2月22日	22（20）
16	おひなさま作り	3月1日	13（15）

年中行事（展示）

	事業名称	開催期間
1	鯉のぼり飾り	4月23日～5月8日
2	七夕飾り	6月28日～7月8日
3	カイクの飼育	7月20日～8月17日
4	お盆の砂盛り	8月13日～8月15日
5	十五夜飾り	9月14日～9月17日
6	十三夜飾り	10月11日～10月12日
7	ヨーカゾーの目カゴ飾り	12月6日～12月9日 2月7日～2月8日
8	正月飾り	12月23日～1月7日
9	春の七草	1月7日～1月31日
10	繭玉団子飾り	1月14日～1月21日
11	お雛様飾り	2月17日～3月6日

【事業実施状況に関する補足説明】

特になし

2、収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	8,357,000	人件費 (指定管理者が雇用した職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	5,730,510
その他収入 (行事等参加料・民家園販売上等)	354,000	事業費 (指定管理者が年中行事等事業を行っていく上で支出した金額)	327,187
		事務的経費 (電話料・複写機リース代)	307,142
		光熱水料費 (電気・水道・ガス代)	399,519
		施設管理費 (施設の清掃や、保守点検、保険料、修繕等に支出した金額)	1,781,905
収入計 (①)	8,711,000	支出計 (②)	8,546,263
収支決算 (①－②)		164,737	

【収支決算に関する補足説明】

- ・19年度と比較して事務的経費が224,117円増加している。20年度で複写機の入替えがあり、ポスター・チラシ作成のためカラー複合機を導入したことで、リース代が増額したためである。

3、コメント

【大和市文化財保護審議会の意見】平成21年8月17日開催

- ①指定管理者として、協定書どおりの業務を実施している。
- ②現場職員に学芸員を配置したことは、事業の充実につながるので評価したい。

【大和市文化振興課(所管課)のコメント】

- ①施設の維持管理および事業については、適切に実施された。
- ②学芸員を配置したことにより、今後一層施設を活用し文化財の普及啓発に努めて欲しい。
- ③来園者の意見を吟味し、施設管理に生かしてもらいたい。